

第3回 海浜プロムナード（人道橋）基本設計検討委員会 議事録

日時：平成20年2月18日（月） 10:00～12:00

場所：市役所15階 第5会議室

出席者 <委員>

- ・ 委員長 日野 伸一 (九州大学工学研究院教授)
- ・ 佐藤 優 (九州大学大学院芸術工学研究院教授)
- ・ 柳 哲雄 (九州大学応用力学研究所教授)
- ・ 坂井 猛 (九州大学新キャンパス計画推進室教授)
- ・ 大谷 鮎子 (NPO九州キラキラみなとネットワーク理事長)
- ・ 青木 武 (東区自治組織等連絡協議会会長)

<行政メンバー>

- ・ 古賀 一光 (東区総務部長)
- ・ 阪下 進 (港湾局計画部長)
- ・ 逸見 廣治 (港湾局建設部長)
- ・ 馬場崎 正博 (港湾局環境対策部長)
- ・ 松崎 勝美 (港湾局アイランドシティ経営計画部長)

<事務局>

福岡市港湾局アイランドシティ経営計画部事業計画課

【議事概要】

◎委員長 ○委員 △事務局

(1) 第2回委員会の検討事項の確認

- ・ 休憩スペースの規模と位置、縦断線形、橋桁の形式、橋脚の形状、潮流に与える影響

◎ 前回からの再検討内容には、特に意見がないようですので、事務局は詳細検討を進めてください。

(2) 歩行空間の検討

- ・ 高欄

○ アルミ製の中柱には、部分的に自然石を用いると質感が高まるのですが、予算との兼ね合いで難しいようなので、表面加工を部分的に変化させる方法があると思います。

◎ アルミは、一般的には軽いイメージがありますが、表面加工をすることで趣は変わりますか？

○ アルミでも鋳物にすることで、様々な質感が表現できるため、趣はずいぶん変わります。さらに、塗装をすることで、趣を十分に表現できると思います。

○ 着色する場合、塗り替えの必要はないのですか？

○ アルミは鉄のようなサビによる構造劣化の心配がほとんどなく、塗装が剥がれたとしても、見た目の問題なので、それが気にならないように、表面を凹凸の付いた加工にしておけばいいと思います。

○ 高欄と手摺は、概ね事務局案の方向でいいと思いますが、中柱の頂部形状は、もう少し検討すべきだと思います。地覆は、前回案から外側にずらしているため、外から見た際にラインを出すことができ、橋のスレンダーさを強調できているので、修正案の通りでいいと思います。

- ◎ 地覆外側への着色は必要ですか？
- 本体構造（コンクリート）と同じ色・素材でいいと思います。
- ◎ 特に異論がないようですので、事務局は修正案に沿って詳細検討を進めてください。

- ◎ 色彩については、事務局から3つの案が提示されていますが、いかがですか？
- 海にマッチした青系がいいと思います。
- 陸地が緑系であれば、少し変化を持たせるために、海は青系がいいと思います。
- ◎ 青系にした場合、IC外周緑地で用いられている緑色との調和について、問題ありませんか？
- 事務局案のような色彩であれば、問題なく調和し、IC外周緑地との一体感が出せると思います。
- ◎ 正確な色彩までは決められないので、事務局は委員会の意見を踏まえ、詳細検討を進めてください。

・照明

- 中柱の灯具は、手の届く場所となるので、破壊防止策をしっかりとお願いします。
- 灯具の球切れの際には、地元住民でも簡単に交換できるような構造にして欲しいです。
- いたずらへの防止対策とメンテナンスの容易化は、相反するところがあります。
- △ 今後、総合的に検討してまいります。
- 照明が明るすぎると、周辺住民の方に迷惑がかかるので、深夜の調光を考えるのはどうですか？
- 地元からは『もっと明るくして欲しい』との要望が多いようです。
- ◎ 特に異論がないようですので、事務局は提示案を基本として、詳細な検討を進めて下さい。

・橋面舗装

- ◎ 路面色分けで、中央にラインが通っている第1案は、自転車が通行する恐れはありませんか？
- 色分けを交互に入れ替えている第2案は、何のためですか？
- 第1案は、ライン幅が1mなので、自転車通行帯とのイメージを与えることはないと思います。
第2案は、自転車が通行した際に、路面の変化によって、スピード抑制が期待できると思います。
夜間の景観を考えると、フットライトによる演出効果が、より高いのは第1案だと思います。
- 第1案の方が、すっきりしているので、私も第1案がいいと思います。
- ◎ 反対意見がないようですので、第1案を基本として、事務局は詳細検討を進めてください。

・橋面休憩スペースおよびベンチ

- 以前から話が出ている『木調』については、木製のベンチを用いる案でいいと思いますが、ベンチの正面に配置されている中柱は、ベンチからの視界を考慮し、ずらすことを検討してほしいです。
- 休憩スペースAの階段は、スロープにした方が、高齢の方など誰もが使いやすくなると思います。
それに階段しかない、車いすの方を排除しているかのような印象も受けてしまいます。
- ◎ 事務局はどう考えていますか？
- △ 階段部分をスロープにすると勾配が10%以上となり、車いすの方にとって、逆に危険になると考えました。車いすの方への配慮としては、階段の下に降りなくても、眺望を楽しんでもらえるように、通行部とは別に、ベンチ背後にスペースを設けることとしています。
- 車いすの方だけでなく、できるだけ多くの世代、様々な体のコンディションの方に配慮し、段差部分のすべてを階段にするのではなく、一部をスロープにするという検討も必要だと思います。

- ◎ 限られたスペースの中で、緩やかなスロープを設置するとことは、距離的に無理がありますか？
- スロープの始点終点を固定しなければ、長い距離を取ことも不可能ではないと思います。
- 休憩スペースの平面形状を偏心させることで、距離を取ること一つの考えだと思います。
- ◎ 休憩スペースそのものを広くするのは、デザイン面などを考えると厳しいですか？
- 長さ方向の7mを10m程度に伸ばすことは、検討する価値はあると思います。
- ◎ 事務局は、委員会の意見を踏まえて、可能な範囲で改良の検討をお願いします。

・橋だまり

- 自転車利用者に対して、『押して歩くように』との看板は必要だと思います。
 - △ 注意喚起の対策については、看板と限定せず、今後、検討をおこなってまいります。
 - 注意喚起が曖昧だと、自転車通行が形骸化してしまうので、看板で明示すべきだと思います。
 - 人道橋に繋がる周辺遊歩道には、自転車通行帯はないですが、注意喚起の看板等がありますか？
 - △ 把握している限りではないようです。
 - 自転車の問題は、人道橋だけではなく、御島周回路の全体として考えていく必要があると思います。
 - ◎ 周回路の中で、人道橋が架かる箇所は、他のルートを選ぶことができないので、看板による注意喚起もさることながら、市政だよりなどによる広報も必要と思います。
-
- 橋だまりに設置予定のポール型照明は、橋のデザインと調和するようなものにして下さい。
 - △ 具体的なデザインについては、今後、橋と調和するよう検討してまいります。
-
- 事務局の考えでは、現時点で、監視カメラを設置しない方針とのことですが、将来、設置が必要になったことを考え、設置箇所だけでも設定しておくべきだと思います。
 - △ 今後、詳細設計などの中で検討してまいります。
-
- 御島周回路には、IC外周緑地と香椎浜北公園にトイレがありますが、香住ヶ丘側にはありません。来訪者の増加に備えて、香住ヶ丘側にも、小さなもので構わないので設置してもらいたいです。
 - △ 管理の問題があり、なかなか厳しいのが現状です。今後の検討課題とさせていただきます。
 - 東区では、健康づくりのウォーキングを推進しているので、人道橋の整備に併せて、周回路全体として、トイレの他にも水飲み施設や距離表示施設などの整備もお願いしたいです。
 - 駐車場についても同様だと思います。橋単体ではなく、周辺を含めての検討をお願いします。
 - ◎ 事務局は、委員会での意見を踏まえて、検討を進めて下さい。